

〈雑報〉

平成二十四年度

仏教文化研究所活動報告

【第一回 運営委員会】

日時 平成二十四年四月十二日（木） 十二時二十分～十三時十分

場所 仏教文化研究所共同研究室（六号館二階）

出席者 木村清孝所長、下室寛道主任、池麗梅研究員、河野眞知郎所員、石田千尋所員、岩橋春樹所員、小林恭治所員、

宗基秀明所員、小林馨所員、関根透所員

議題

一、審議事項

①平成二十四年度公開シンポジウムについて

②平成二十四年度研究例会の開催について

③生涯学習セミナー（平成二十四年度）の開講について

④仏教文化研究所兼任研究員の採用について

二、報告事項

①平成二十三年度決算について

②平成二十四年度事業計画について

③平成二十四年度予算について

④日本印度学仏教学会第六十三回学術大会について

⑤その他

- ・歯学部「宗教学Ⅰ・Ⅱ」講義担当について
- ・『鶴見大学仏教文化研究所紀要』第十七号の刊行・配布について

【公開シンポジウム】

日時 平成二十四年六月九日（土）十三時三十分～十六時三十五分

会場 大学会館二階サブホール

テーマ 曹洞宗大本山總持寺御移転百年記念公開シンポジウム

「死の痛みを超えて——大悲の禪に学ぶ——」

講師・演題

木村清孝所長「へ生死去来真実人——大悲の禪とのかかわりから」

子島潤教授「へ死の痛み」を癒す医療——ホスピスとピハラー——」

関根透所員「医療倫理の視点から生と死を考える——『看病用心鈔』を中心に」

矢島道彦所員「尊厳死とはなにか——仏教の立場から——」

（※公開シンポジウム記録は本紀要に掲載）

【第二回 運営委員会】

日時 平成二十四年七月十二日（木）十二時二十分～十二時五十五分

場所 仏教文化研究所共同研究室（六号館二階）

出席者 木村清孝所長、下室寛道主任、池麗梅研究員、田口暢穂所員、河野真知郎所員、石田千尋所員、岩橋春樹所員

小林恭治所員、星野玲子所員、前田伸子所員

議題

一、審議事項

- ① 『鶴見大学仏教文化研究所紀要』（第十八号）の原稿募集、編集予定について
- ② 平成二十四年度仏教文化研究所図書購入の計画について
- ③ 研究例会（平成二十四年十二月十三日〈木〉）のスケジュールについて
- ④ 科学研究費補助金の申請について
- ⑤ その他

二、報告事項

- ① 平成二十四年度公開シンポジウムの結果について
- ② 日本印度学仏教学会第六十三回学術大会の結果について
- ③ 生涯学習セミナー第二クール「二歩すすんだ仏教入門…曹洞禅の歴史と思想」の開講について
- ④ 小冊子『大本山總持寺の成立と発展』の刊行と配布等について
- ⑤ 海南師範大学南海区域文化研究センターとの学術交流について
- ⑥ 逸見コレクションの調査協力依頼について
- ⑦ その他

【第三回 運営委員会】

- 日時 平成二十四年十月二十五日（木） 十二時二十分～十二時五十分
- 場所 仏教文化研究所共同研究室（六号館二階）
- 出席者 木村清孝所長、下室覚道主任、池麗梅研究員、田口暢穂所員、岩橋春樹所員、伊藤正義所員、前田伸子所員、

星野玲子所員、橋本弘道所員

議題

一、審議事項

- ①平成二十五年度仏教文化研究所事業計画について
- ②平成二十五年度仏教文化研究所予算について
- ③その他

二、報告事項

- ①生涯学習セミナー第二クール「一歩すすんだ仏教入門…曹洞禅の歴史と思想」の開講について
- ②海南師範大学南海区域文化研究センターとの学術交流について
- ③科研費申請の状況について
- ④平成二十四年度仏教文化研究所図書購入の計画について
- ⑤『鶴見大学仏教文化研究所紀要』第十八号編集の進捗状況について
- ⑥逸見コレクションの調査協力依頼について
- ⑦平成二十四年度研究例会の開催について
- ⑧その他

【研究例会】

日時 平成二十四年十二月十三日（木）十六時三十分～十八時

場所 仏教文化研究所共同研究室（六号館二階）

発表者 山室吉孝所員「ジョン・デューイの思想におけるジェーン・アダムズの宗教思想の影響について」

【第四回 運営委員会】

古瀬珠水所員「再考―大日房能忍と達磨宗」

日時 平成二十五年二月二十八日(木) 十二時～十三時

場所 仏教文化研究所共同研究室(六号館二階)

出席者 木村清孝所長、下室寛道主任、池麗梅研究員、田口暢穂所員、河野真知郎所員、石田千尋所員、小林恭治所員、

宗墓秀明所員、橋本弘道所員、前田伸子所員、小林馨所員、山室圭吾所員

議題

一、審議事項

- ① 平成二十五年年度公開シンポジウムのテーマ等について
- ② 平成二十五年年度鶴見大学仏教文化研究所所員について
- ③ その他

二、報告事項

- ① 平成二十五年年度予算について
- ② 『鶴見大学仏教文化研究所紀要』第十八号刊行の進捗状況について
- ③ 平成二十四年度購入図書について
- ④ 歯学部「宗教学」講義担当者について
- ⑤ その他

平成二十四年度

仏教文化研究所概要

〔所在地〕 〒230―8501 神奈川県横浜市鶴見区鶴見二―一―三 鶴見大学内

TEL ○四五―五八一―一〇〇一

FAX ○四五―五八一―一三九一

〔所長〕 木村 清孝 鶴見大学学長（哲学）

〔主任〕 下室 覚道 文学部准教授（宗教学）

〔専任研究員〕 池 麗梅 仏教文化研究所准教授（仏教学）

〔兼任研究員〕 前田 伸子 鶴見大学副学長（細菌学）

河野 眞知郎 文学部教授（考古学）

石田 千尋 文学部教授（歴史学）

岩橋 春樹 文学部教授（美学・美術史）

小林 恭治 文学部教授（日本語学）

伊藤 正義 文学部教授（文化財学）

加藤 寛 文学部教授（文化財学）

田口 暢穂 文学部教授（中国文学）

小林 馨 歯学部教授（歯科放射線学）

〔顧問〕

- 関根 透 歯学部非常勤講師（倫理学）
宗墓 秀明 文学部准教授（歴史学）
橋本 弘道 短期大学部准教授（教育学）
星野 玲子 文学部講師（文化財科学）
永田 勝久 本学名誉教授（文化財科学）
佐藤 達全 短期大学部非常勤講師（仏教保育）
尾崎 正善 文学部非常勤講師（宗教学）
矢島 道彦 東京大学非常勤講師（宗教学）
斎藤 明 東京大学教授（印度哲学）
丘山 新 浄土真宗本願寺派総合研究所副所長（仏教学）
蓑輪 顕量 東京大学教授（仏教学）
高橋 晃一 筑波大学助教（仏教学）
古瀬 珠水 東京外国語大学非常勤講師（日本仏教）
池田 道浩（仏教学）
高崎 直道 本学名誉教授（宗教学）
納富 常天 元大本山總持寺宝物殿館長（宗教学）
柳澤 慧二 本学名誉教授（生理学）

鶴見大学仏教文化研究所規程

(設置)

第一条 鶴見大学に、鶴見大学仏教文化研究所（以下「研究所」という。）を置く。

(目的)

第二条 研究所は、鶴見大学の建学の精神に則り、日本における仏教文化を中心に、広く仏教と文化に関する研究を推進し、学術の発展に寄与することを目的とする。

(研究内容等)

第三条 研究所は、前条の目的を達成するために次のことを行う。

- (一) 宗教学等の教授内容としての諸宗教の比較、仏教教理、曹洞宗学（特に總持寺教学）及び日本文化に及ぼした仏教の研究等の基本的研究
- (二) 鶴見大学及び鶴見大学短期大学部における建学の精神の具現化及びその方法等の研究
- (三) 鶴見大学大学院文学研究科との共同研究及び他の研究機関との学際的研究
- (四) 研究会、講演会及び公開講座等の開催
- (五) 研究所の調査及び研究の成果並びに共同研究の成果、講演等の発表のための紀要類の刊行
- (六) その他研究所の目的を達成するために必要と認める研究等

(研究部門)

第四条 研究所に、次の三研究部門を置く。

(一) 仏教学研究部門

(二) 仏教教育研究部門

(三) 仏教文化財研究部門

(所長)

第五条 研究所の所長は、鶴見大学学長の併任とする。

(主任)

第六条 研究所の主任は、研究所の所員のうちから、所長が委嘱する。

(所員)

第七条 研究所に、次の所員を置く。

(一) 専任研究員

(二) 兼任研究員

(三) 顧問

二 兼任研究員・顧問には、給与は支給しない。

(専任研究員)

第八条 専任研究員の任用については、別に定める。

(兼任研究員)

第九条 兼任研究員については、次の研究員を置き、所長が委嘱する。

(一) 鶴見大学及び鶴見大学短期大学の専任教員

(二) 鶴見大学及び鶴見大学短期大学の専任教員以外の者

二 鶴見大学及び鶴見大学短期大学の専任教員以外の者は任期を一年とし、更新することができる。

(顧問)

第一〇条 研究所に、必要な助言を与え事業の円滑な運営を図るため、若干人の顧問を置く。

(職員)

第十一条 研究所の職員(教員を除く。以下この項において同じ。)は、専任のほか、鶴見大学の専任の職員の中から所長が委嘱する。

(運営委員会)

第十二条 研究所に、第三条に定める研究内容等の企画、運営のため、運営委員会を置く。

二 運営委員会は、所長及び所長が委嘱する運営委員をもって構成する。

三 運営委員の任期は二年とし、更新することができる。

(経費)

第十三条 研究所の経費は、鶴見大学の年間研究費予算その他寄附金等をもってこれに充てる。

(事務の所管)

第十四条 この規程に関する事務は、研究所事務室が所管する。

(規程の改廃)

第十五条 この規程の改廃は、運営委員会の議を経て、行うものとする。

附 則

この規程は、平成七年四月一日から施行する。

附 則

この改正規程は、平成十一年四月一日から施行する。

附 則

この改正規程は、平成二十年四月一日から施行する。

附 則

この改正規程は、平成二十一年四月一日から施行する。

附 則

この改正規程は、平成二十二年四月一日から施行する。

鶴見大学仏教文化研究所専任研究員任用規程

(目的)

第一条 この規程は、鶴見大学仏教文化研究所規程第八条により鶴見大学仏教文化研究所（以下「研究所」という。）における専任研究員の任用に関する必要な事項を定めることを目的とする。

(職位)

第二条 専任研究員の職位は、教授、准教授、講師及び助教とする。

二 教授とすることができる者は、次の各号のいずれかを満たすことを必要とする。

(一) 大学教授としての経歴を有し、かつ研究上の業績及び教育上の識見があると認められるもの。

(二) 准教授として相応な経歴を有し、かつ研究上の業績及び教育上の識見があると認められるもの。

三 准教授とすることができる者は、次の各号のいずれかを満たすことを必要とする。

(一) 大学教授としての経歴を有し、かつ研究上の業績及び教育上の識見があると認められるもの。

(二) 講師として相応な経歴を有し、かつ研究上の業績及び教育上の識見があると認められるもの。

(三) 前各号の該当者と同等以上の学識・経歴・業績があると認められるもので、博士の学位を有するもの。

四 講師とすることができる者は、次の各号のいずれかを満たすことを必要とする。

(一) 前各号の該当者と同等以上の学識・経歴・業績があると認められるもので、修士の学位を有するもの。

(二) 大学講師としての経歴を有し、かつ研究上の業績及び教育上の識見があると認められるもの。

(三) 助教として相応な経歴を有し、かつ研究上の業績及び教育上の識見があると認められるもの。

五 助教となることができる者は、次の各号のいずれかを満たすことを必要とする。

(一) 修士の学位を有し、研究上の業績を有するもの。

(二) 研究上の業績が前号の者に準ずると認められるもの。

(選考結果の上申)

第三条 専任研究員の選考は、一般公募とし、運営委員会の議を経て、研究所長が当該候補者を学長に上申する。

二 なお選考方法は、書類選考及び面接とする。

(申請)

第四条 専任研究員を希望する研究者は、原則として次に掲げる書類をもって研究所に申請するものとする。

(一) 履歴書

(二) 研究業績一覧

(三) 著書・論文

(四) その他選考に必要な書類

(職務)

第五条 専任研究員は、鶴見大学仏教文化研究所規程第三条（研究内容等）に定める研究・調査活動、その他、研究所の活動に必要な業務を行うものとする。

(勤務・待遇等)

第六条 専任研究員の勤務・待遇等は、鶴見大学職員就業規則によるものとする。

(研究費)

第七条 専任研究員には、研究費を支給することがある。

二 支給額は別に定める。

(諸規程等の遵守)

第八条 専任研究員は、研究等に従事するに当たり、本学の諸規程等を遵守しなければならない。

(規程の改廃)

第九条 この規程の改廃は、運営委員会の議を経た後、学長の承認を得て行うものとする。

附 則

この規程は、平成二十二年四月一日から施行する。

附 則

この改正規程は、平成二十三年四月一日から施行する。

平成二十三年度
仏教文化研究所購入図書・資料

1. 一般図書

- 『インド仏教教団正量部の研究』、並川孝儀著、大蔵出版、二〇一一年
- 『インド仏教史仏教教学論叢・仲澤浩祐博士古稀記念論文集』、仲澤浩祐博士古稀記念論文集刊行会編集、山喜房佛書林、二〇一一年
- 『インド密教の観自在研究』、佐久間留理子著、初版、山喜房佛書林、二〇一一年
- 『叡山浄土教の研究』、佐藤哲英著・研究編、資料編、再刊、百華苑、一九八九年
- 『永平初祖學道用心集提耳録』、西有穆山著・岸澤惟安校註、改訂新版、鴻盟社、二〇〇七年
- 『高祖道元禪師七五〇回大遠忘記念誌』、教化部企画研修課、曹洞宗事務庁、二〇〇三年
- 『加賀大乘寺史』、館残翁著・山科杏亭校注、北国出版社
- 『鎌倉遺文』、鎌倉遺文研究会編・補遺編・東寺文書第一卷、東京堂出版、二〇一一年
- 『訓読元亨釈書』(上・下)、虎関師鍊原著・藤田琢司編著、禅文化研究所、二〇一一年
- 『神中鉄道案内』、磯部俊平編纂、磯部俊平、一九二七年
- 『吉蔵の浄土教思想の研究…無得正観と浄土教』、伊東昌彦著、春秋社、二〇一一年
- 『教育と信仰』、中根環堂著、鴻盟社、一九二九年
- 『郷土読本鶴見歴史散歩』、飯田九一著、草画洞、一九五七年
- 『清水寺史』、清水寺史編纂委員会編・第一卷 通史(上) 第四卷 図録、音羽山清水寺
- 『金元時代の道教・七眞研究』、蜂屋邦夫著、汲古書院、一九九八年

- 『黒谷源空上人傳』、聖覺記、和泉屋新八、延宝四（一六七六）年
- 『原始仏教に於ける涅槃（Nirvana）の研究』、服部弘瑞著、山喜房佛書林、二〇一一年
- 『元代禪宗史研究』、野口善敬著、禪文化研究所、二〇〇五年
- 『興福寺典籍文書目録』（四卷）、奈良国立文化財研究所編、法藏館、一九八六年
- 『興福寺阿修羅を描く…写仏画集』、松久佳遊著、青志社、二〇一二年
- 『護国寺史』、護国寺史編纂委員会編纂、護国寺、一九八八年
- 『後醍醐天皇御遠忌奉修総持寺発願次第』、栗山泰音述、総持寺、昭和九年
- 『古代の中国文化を探る…道教と煉丹術』、今井弘著、関西大学出版部、二〇一二年
- 『語録の思想史…中国禪の研究』、小川隆著、岩波書店、二〇一一年
- 『金藏論…本文と研究』、宮井里佳、本井牧子編著、臨川書店、二〇一一年
- 『密教秘印大鑑』、白口孔監修、八幡書店、二〇一二年四・三二年
- 『參天台五臺山記』（上・下）、成尋著・藤善眞澄訳注、関西大学出版部、二〇〇七年
- 『字記捷覽』（上・下）、釋智廣原著・釋周觀註、林庄五郎、元禄一二年（一六九〇）
- 『直心淨國禪師語録…全』、西有穆山著・大慈宗潭閣・岸澤惟安編纂、再版、鴻盟社、一九六一年
- 『釈尊觀』、日本仏教学会編、平樂寺書店、一九八五年
- 『宗教工芸…祈りの造形を追求する宗教用具の専門誌』第二号、第四号、鎌倉新書、一九七九年
- 『十種勅問落草談』、法雲普蓋垂示・大圓玄致修訂、總持寺御遠忌事務局編輯、總持寺、一九三五年
- 『十種疑問落草談…後醍醐天皇勅問弘徳円明国師奏対』、法雲普蓋垂示・石川素重編、總持寺出張所、一九〇二年
- 『浄土教の成立史的研究』、香川孝雄著、山喜房佛書林、一九九三年

- 『正法眼蔵』（道元禪師全集…原文対照現代語訳、九冊）、道元著・水野弥穂子訳註、春秋社、二〇〇二年
- 『初期の道教』、大淵忍爾著、創文社、一九九一年
- 『神呪経研究…六朝道教における救済思想の形成』、菊地章太著、研文出版、二〇〇九年
- 『清朝とチベット仏教…菩薩王となった乾隆帝』、石濱裕美子著、早稲田大学出版部、二〇一一年
- 『西晉「儒教國家」と貴族制』、渡邊義浩著、汲古書院、二〇一〇年
- 『宋元郷村社会史論…明初里甲体制の形成過程』、伊藤正彦著、汲古書院、二〇一〇年
- 『總持寺住持職事』、左中□□、嘉永元年（一八四八）
- 『總持寺宝物展』、室峰梅逸編、総持寺、一九六五年
- 『総持二祖峨山禪師』、佐藤悦成著、大本山総持寺出版部、一九九六年
- 『曹洞宗大本山永平寺縁起…附大遠忌準備の話』、鴻盟社、一八九九年
- 『曹洞宗兩祖傳略』、大内青巒編、大内青巒、一八八四年
- 『大圓玄致禪師語録』、石川素重述・稲寸篤恭編、大円玄致禪師語録刊行会、一九三二年
- 『大本山總持寺要覽』、大本山総持寺、一九五八年
- 『壇那流』、天台宗典編纂所編纂・一、春秋社、二〇一一年
- 『中国浄土教理史』、望月信亨著、法蔵館、一九七八年
- 『中国浄土教史の研究』、道端良秀著、法蔵館、一九八〇年
- 『中国禪宗叢林清規史の研究』、林徳立著、山喜房佛書林、二〇一二年
- 『中国近世以降における仏教思想史』、安藤智信著、法蔵館、二〇〇七年
- 『中国中観思想論…吉蔵における「空」』、高野淳一著、大蔵出版、二〇一一年

- 『中国隋唐長安・寺院史料集成』、小野勝年著
- 『中国中世仏教史研究』、諏訪義純著、大東出版社、一九八八年
- 『中国仏教史』、道端良秀著、改訂新版、法蔵館、一九七五年
- 『注維摩經序説』、木村宣彰著・真宗大谷派宗務所教育部編集、真宗大谷派宗務所出版部（東本願寺出版部）、一九九五年
- 『趙城金藏』（二二〇冊）、北京圖書館出版社、二〇〇八年
- 『通幻禪師物語』、総持寺中興の祖、山端昭道著、永沢寺、一九九〇年
- 『通幻禪師六〇〇回大遠忌記念』、通幻禪師と撰丹境永澤寺、中嶋仁道責任編集、兵庫県獄山会、一九九三年
- 『哲学の現場』、日本で考えるということ』、末木文美士著、トランスビュー、二〇一二年
- 『徹通義介禪師研究』、大乘寺開山徹通義介禪師七百回遠忌記念』、東隆真編著、大乘寺、二〇〇六年
- 『現代語訳天台四教儀』、池田魯參著、山喜房佛書林、二〇一一年
- 『天台山記の研究』、薄井俊二著、中国書店、二〇一一年
- 『天台学』、根本思想とその展開』、安藤俊雄著、平楽寺書店、一九六八年
- 『天台学論集』、止観と浄土』、安藤俊雄著・安藤俊雄先生遺稿集刊行会編、平楽寺書店、一九七五年
- 『天台教學史』、島地大等著、明治書院、一九二九年
- 『天龍寺小史』、山田無文著、天龍寺宗務本院、一九三七年
- 『道教とその經典』、大淵忍爾著、創文社、一九九七年
- 『道教の齋法儀礼の思想史的研究』、小林正美編、知泉書館、二〇〇六年
- 『道家・道教の思想とその方術の研究』、坂出祥伸著、汲古書院、二〇〇九年
- 『現代語全解釈道元禪師頌古事典』、有賀要延編著、国書刊行会、二〇〇〇年

- 『唐初道教思想史研究』、『太玄真一本際經』、の成立と思想、山田俊著、平樂寺書店、一九九九年
- 『唐代龍門石窟の研究』造形の思想的背景について、久野美樹著、中央公論美術出版、二〇一一年
- 『東洋における人間観』インド思想と仏教を中心として、前田専学編、東京大学出版会、一九八七年
- 『南北朝遺文』(九州編第一巻、東北編第二巻)、東京堂出版、一九八〇年、
- 『西有禪話』、西有瑾英著・横井見明編、鴻盟社、一九〇五年
- 『西有穆山禪師』没後百年』
- 『日課念佛士女訓』、念海撰、出版者不明、文化八年(一八一二)
- 『日光山輪王寺史』、日光山史編纂室編、校訂増補版、日光山輪王寺門跡教化部、一九六七年
- 『日本浄土教の諸問題』浅井成海先生古稀記念論集、浅井成海編集、永田文昌堂、二〇一一年
- 『日本宋史研究の現状と課題』、一九八〇年
- 『日本の仏教を築いた人びと』その肖像と書、奈良国立博物館、一九八一年
- 『如淨禪師語録』、如淨語、温州十方縁宗教用品有限公司(印刷)、佛歴二五五二年
- 『涅槃図の図像学』・仏陀を囲む悲哀の聖と俗千年』
- 『大本山永平寺高祖道元禪師七百五十回大遠忌記念』大遠忌の歩み、遠忌日報、香資勸募帳、大本山永平寺高祖道元禪師七百五十回大遠忌事務局、二〇〇三年
- 『長谷寺史の研究』、逢日出典著、巖南堂書店、一九七九年
- 『東アジアにおける宗教文化の再構築』、鈴木正宗編、風響社、二〇一〇年
- 『風水思想論考』、牧尾良海著、山喜房佛書林、一九九四年
- 『仏教の生命観』、日本仏教学会編、平樂寺書店、一九九〇年
- 『仏教における生死の問題』、日本仏教学会編、平樂寺書店、一九八一年

- 『仏教における誓願』、日本仏教学会編、平楽寺書店、一九九五年
- 『佛教經典史論』、赤沼智善著・新装版、法藏館、一九八一年
- 『仏教圖像の研究・圖像と經典の關係』、小山滿著、向陽書房、二〇一一年
- 『仏教思想史研究』、上田義文著、改訂版、永田文昌堂、一九五八年
- 『仏教における行の問題』、日本仏教学会編、平楽寺書店、一九六五年
- 『仏教における証の問題』、日本仏教学会編、平楽寺書店、一九六六年
- 『仏教における存在と知識』、梶山雄一著、紀伊國屋書店、一九八三年
- 『仏教における浄土思想』、日本仏教学会編、平楽寺書店、一九七七年
- 『仏説天地八陽神呪経一卷…トルコ語訳の研究』、小田壽典著、法藏館、二〇一〇年
- 『仏像いのりの世界』、宝物殿専門委員会編、曹洞宗大本山總持寺、一九八〇年
- 『仏陀観』、日本仏教学会編、平楽寺書店、一九八八年
- 『仏道の体系』、日本仏教学会編、平楽寺書店、一九八九年
- 『碧巖録全提唱』（第一卷～第一〇卷・索引）、山田無文著、禅文化研究所、一九八五～一九八八年
- 『菩薩観』、日本仏教学会編、平楽寺書店、一九八六年
- 『法華文句』（四冊）、智顛講述・灌頂記・菅野博史訳註、第三文明社、二〇〇七年
- 『密教美術と歴史文化…権大僧正昇補・大日寺準別格本山寺格昇格・真鍋俊照博士古稀記念論集』、真鍋俊照編著、法藏館、二〇一二年
- 『妙光寺百年史編纂委員会編、高照山妙光寺、一九九六年
- 『増訂無量寿経の研究…思想とその展開』、大田利生著、第二刷（増補）、永田文昌堂、二〇〇〇年
- 『室生寺史の研究』、逢日出典著、巖南堂書店、一九七九年

- 『黙照圓通禪師語録』（乾・坤）、秋野孝道著・大塚洞外編、總持寺、一九三五年
- 『モンゴル仏教の研究』、嘉木揚凱朝著、法藏館、二〇〇四年
- 『モンゴル時代道教文書の研究』、高橋文治著、汲古書院、二〇一二年
- 『夜明簾・大圓玄致禪師御法話』、石川素童述・高橋定垣輯、鴻盟社、一九一五年
- 『維摩經・梵漢和对照・現代語訳』、植木雅俊訳、岩波書店、二〇一一年
- 『永光寺の名宝』、石川県立歴史博物館編、石川県立歴史博物館、一九九八年
- 『横尾忠則』=『Tadanori Yokoo』、横尾忠則著、三ツ進、一九七六年
- 『六朝思想の研究・士大夫と仏教思想』、中嶋隆藏著、平樂寺書店、一九八五年
- 『六朝思想史研究』、村上嘉実著、平樂寺書店、一九七四年
- 『六朝道教儀禮の研究』、山田利明著、東方書店、一九九九年
- 『六朝道教思想の研究』、神塚淑子著、創文社、一九九九年
- 『六朝道教史研究』、小林正美著、創文社、一九九〇年
- A comprehensive study of the Asokan inscription*, by the Project of Comprehensive Study on Asokan Inscriptions, 1st ed., PURIKA, 2010.
- The history of Asokan inscription's research*, by the Project of Comprehensive Study on Asokan Inscriptions, 1st ed., PURIKA, 2011.
- The Larger and Smaller Suktavāṇīyāha Sūtras*, Edited with introductory remarks and word indexes to the two Sūtras by Kotatsu Fujita, Hozokan, 2011.
- The way of practicing meditation in Theravāda Buddhism*, by Gyana Rama Thera., Sankho Bussorin, 2001.
- ## 2. 参考図書
- 『基本梵英和辞典』、B年ヴィディヤランカール、

『浄土教の事典…法然・親鸞・一遍の世界』、峰島旭雄監修、東京堂出版、二〇一一年

『證空辞典』、中西随功監修、東京堂出版、二〇一一年

『法華経の事典…信仰・歴史・文学』、大角修著、春秋社、二〇一一年

『ブツダを知る事典』、菅沼晃・渡辺章悟監修、佼成出版社、二〇一一年

『鎌倉古社寺辞典』、吉川弘文館編集部編、吉川弘文館、二〇一一年

『図説ことわざ事典』、時田昌瑞著、東京書籍、二〇〇九年

3. その他の資料

總持寺圖繪大本山總持寺、一枚、一七・二×七七・三糎（折りたたみ一九・六×十・九糎）

曹洞宗大本山絵はがき、一組（九枚）、九・二×十四・二糎

絵はがき大本山總持寺、一組（十枚）、九・二×十四・二糎

大本山總持寺別院繪葉書（第二集）、一組（八枚）、九・二×十四・二糎

曹洞宗大本山總持寺御遷祖式参拝記念はがき、一組（一枚）、九・一×十四糎

大本山總持寺絵はがき、一組（十二枚）、九・二×十四・二糎

大本山總持寺絵はがき、一組（八枚）、九・二×十四・二糎

鶴見花月園絵はがき、一組（六枚）、九・二×十四糎

最乗寺蔵版はがき、一組（二枚）

後醍醐天皇六百回御遠忌…鶴見大本山總持寺参拝の栞（四月十日より四月二十三日まで）、京浜電気鉄道、一九三七年
能登名所能本山惣持寺の景、近廣堂、明治三十年（一八九七）

鶴見大学仏教文化研究所紀要投稿規程

- 一 鶴見大学仏教文化研究所紀要（以下「紀要」という。）は、鶴見大学（以下「大学」という。）及び鶴見大学短期大学部（以下「短期大学部」という。）において研究又は教育に従事する者の研究業績を内外に発表することを目的とする。
- 二 紀要に投稿できる者は、原則として、大学及び短期大学部において研究又は教育に従事する者及びこれと共同で研究に従事する者と、仏教文化研究所主催による公開講演会・シンポジウムの講師とする。
- 三 投稿される論文は、未刊行のものに限る。定期刊行物（学術雑誌、商業雑誌、大学・研究所紀要など）や単行本として既刊、あるいは、これらに投稿中の論文は本紀要に投稿できない。但し、学会発表抄録や科学研究費などの研究報告書はその限りではない。
- 四 投稿する者は、紀要刊行内規で定められた投稿要領に従って原稿を作成する。
- 五 本紀要に掲載された論文の公衆送信権は、鶴見大学に属する。

附 則

この規程は、平成十八年四月二十日から施行する。